

(3) Tリンクモジュール：形式 ATLMA-30 (T-Link interface Module)

● 概要

本モジュールは IPU の 1 点形ユニット、多点形ユニットおよび FFI ユニットに実装し、コントローラと Tリンクで接続され、上位コントローラと I/O モジュール間のデータ交棒ルです。

また本モジュールは待機冗長方式の二重化運転が可能です。

なお、Tリンクが2回線で MPU が二重化構成の場合、IPU に Tリンクモジュールを2枚入ります。

また本モジュールの版数 G O \* 以降で I/O モジュール (FFI モジュールを除く) の二重

(a) Tリンクモジュール外観

Tリンクモジュール外観を図3-5に示します。

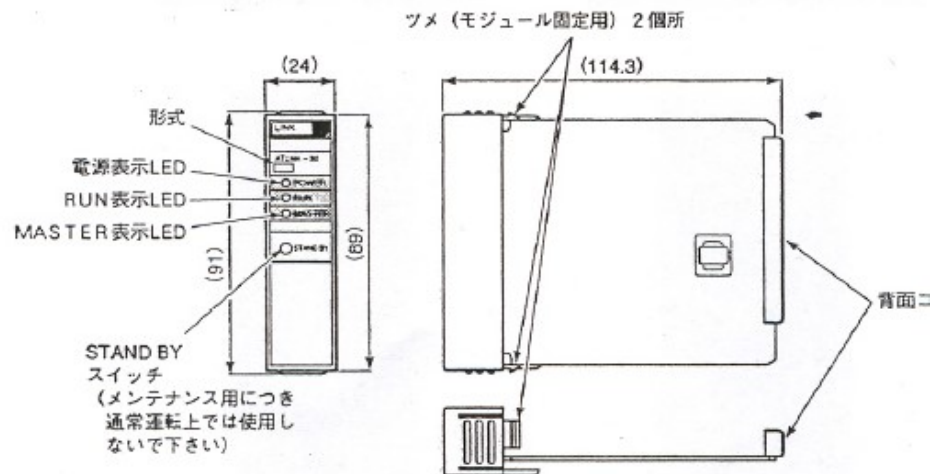


図3-5 Tリンクモジュール外観

(b) Tリンクモジュール仕様

- 所要電源仕様を表3-16に示します。

表3-16 Tリンクモジュールの所要電源仕様

- Tリンクインターフェース仕様を表3-17に示します。

表3-17 TリンクモジュールTリンクインターフェース仕様

仕様項目	仕様
回線数	1回線
伝送手順	Tリンク
動作モード	Tリンクスレーブ
通信方式	ポーリング/セレクトイング方式
伝送方式	半二重、シリアル伝送
伝送速度	500kbps
局番設定	IPUユニット上の2個のロータリースイッチによります
接続方式	マルチドロップ方式
接続局数	最大32局
接続距離	最大1km(注1)

(注1) ケーブルの種類により接続距離が異なります(6.1(7)(b)項:ケーブル等一覧で説明)。

- 表示 LED の意味を表3-18に示します。

表3-18 Tリンクモジュール表示LED仕様

表示 LED	表示色	意 味
POWER	緑	点灯；I/O ユニットへの供給電源およびTリンクモジュールの電源 消灯；I/O ユニットへの供給電源およびTリンクモジュールの電 下)
RUN	緑	点灯；正常動作中 点滅；制御 MPU とのリンク確立中（電源投入時） モジュール外部の異常検出 <ul style="list-style-type: none"> <li>● Tリンク回線断検出（制御 MPU とのリンク断）</li> <li>● I/O モジュール故障検出（縮退指定あり）</li> <li>● 相手側Tリンクモジュール異常（Tリンク二重化時）</li> <li>● I/O-Bus 伝送異常</li> <li>● (FCS エラー，受信ファイルオーバーフロー，受信バイ</li> </ul> 消灯；I/O モジュール故障検出（縮退指定なし） モジュール内部の異常検出（注1） <ul style="list-style-type: none"> <li>● WDT エラー（WDT オーバーフロー）</li> <li>● 内部・外部 RAM 異常</li> <li>● EEPROM 異常</li> <li>● I/O-Bus 伝送異常（オーバラン，アンダラン，送信異常</li> <li>● I/O-Bus 制御 LSI (MLC) 異常</li> </ul> システム構成異常 (歯抜け実装，電源投入後Tリンク局番変更)
MASTER	緑	点灯；稼動中（Tリンクシングル/二重化動作共） 消灯；待機中（Tリンク二重化動作時のみ）
STAND BY	—	シングル動作時；無効